

クイズで学ぼう! お金のイロイロ (答え)



答えは ①42.0%

公的年金は65歳(支給開始年齢)になったら必ず請求して受け取りを始めるものと理解している人もいますが、決してそうではありません。65歳で請求せずに、66歳から70歳までの間に請求することによって受け取り時期を繰り下げることができます。これには、「おや? 受給期間を短くして何のメリットがあるのだろう」と思われるかもしれませんがね。公的年金は終身年金ですから、こうした疑問を持つのも当然です。もっとも、現行の制度では、65歳ではなく66歳から70歳までの間に請求をするならば、その請求時点に応じて年金額が増額されるのです。例えば受給開始を5年間遅らせて70歳から年金を受け取る場合だと、年間の受給額を42%もアップさせることができます。老後の収入を増やす方法として、とても有効な手段であるといえます。

高知県金融広報委員会では、金融・経済、生活設計、生命保険などに関する専門家である「金融広報アドバイザー」を地域やグループ等で開催される各種学習会・講演会へ無料で派遣しています。「家計簿のつけ方を勉強したい」、「最近の金融トラブルについて詳しく話を聞きたい」など、くらしに関係のある金融情報について勉強したいと思われたら、お気軽にお問い合わせください。

高知県金融広報委員会事務局 (日本銀行高知支店総務課内) TEL: 088-822-0114

消費生活センター 便り

「一人暮らしですか?」不審な電話に注意!

消防署などの公的機関を名乗って、「一人暮らしかどうか」を確認する不審な電話に関する相談が寄せられています。個人情報聞き出すため、防災や統計の調査を装うなど手口は様々ですが、その多くは、高齢者を狙ったものです。

不審な電話がかかってきた場合は、ご自分やご家族の情報を話さないように注意してください。



このほか高知県立消費生活センターからの情報発信中!



Facebookもチェック⇒

事例①

消防署を名乗り、「市町村役場から独居高齢者名簿の提供を受け、災害時等に備え連絡している」と電話があった。「同居人がいる」と答えると、電話を代わるように求められた。これ以上話したくないと思い電話を切ったが、その後も電話がかかってくる。(相談者 70代 女性)

事例②

公的機関を名乗る者から、一人暮らしであるかどうかを確認する電話を母親が受けた。電話の相手は、家族の名前を知っており、名前を確認された。母が、一緒に暮らしている者がいることを伝えると、一方的に電話を切られた。(当事者 80代 女性)

- 電話で「一人暮らしかどうか」や「年齢」「家族構成」等の個人情報を尋ねられても答えないようにしましょう。
- 公的機関を名乗る電話を受けた場合でも、少しでも怪しいと感じたら、電話を切ってください。必要なら、電話帳などに記載されている連絡先に確認するようにしましょう。
- トラブルを避けるためには、電話機の番号表示機能や留守番機能を活用し、知らない番号には出ないようにすることも効果的です。
- 心配なときは、3桁の番号188(いやや)にダイヤルすれば、お近くの消費生活センターか市町村の消費生活相談窓口につながりますので、ご相談ください。

消費生活に関するご相談は

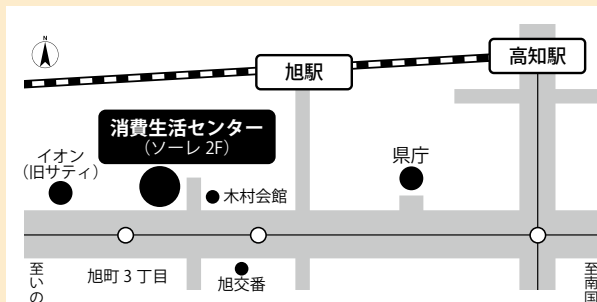
高知県立消費生活センター ☎088-824-0999

住所 〒780-0935 高知市旭町3丁目115番地「ソーレ」2階

受付時間 日曜日～金曜日 9:00～16:45

休所日 土曜日・祝日・12/29～1/3
※日曜日でも相談を受け付けています

ホームページ <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/141602/>



消費者ホットライン……局番なしの188番(いやや) お住まいの市町村等の消費生活相談窓口をご案内します